

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	一般社団法人スタンドアップ亙理	
代表者名	代表理事 加藤 正純	
連絡先 TEL : 080-6044-0296 FAX :	E-mail : sup.watari@gmail.com	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	心の問題を抱えた子ども達のためのもうひとつの居場所づくり「オープンシェアハウス 181」事業
事業の目的	<p>東日本大震災以降、被災地では避難所→仮設住宅→復興公営住宅団地→新居への移行の中、課題は個別化してきている。少子高齢化・核家族化の進行、保護者の就労環境の変化、地域コミュニティの希薄化、不登校児・ひきこもりの増加、貧困と格差の増加、DV、PTSD など、子ども達を取り巻く環境の変化が著しい。核家族化が進み、人との関わりを控え、閉塞的な状況に置かれることでストレスや孤独感を抱えており、こころのケア、障がい児者を含めた子ども達の居場所づくり、子育て世代たちへのサポートが地域の課題と考えています。</p> <p>厚生労働省が発表した 2019 年国民生活基礎調査の結果によると、子どもの貧困率は 14.0%、約 7 人に 1 人が貧困であることがわかりました。また、子どもの虐待は年々増加しており、平成 30 年度中に児童相談所に対応した児童虐待相談件数は全国で 159,850 件と過去最多となり事態は深刻です。</p> <p>思春期の子どもについては、心身上の様々な悩みを抱えたり、いじめの問題や生活習慣の乱れ等の不安定な状況に陥りやすく、自死にまで至るまでのケースへの対応の不十分さが大きな社会問題となっています。</p> <p>虐待の多くは、育児不安や負担感の増加に起因し、中には虐待が意識されず日常化しているケースも少なくなく、こうした問題が潜在化していると言われています。このため、保護者の子育て不安や負担感の軽減・解消を図り、子ども虐待を未然に防止できるよう、行政や関係</p>

	<p>機関・関連施設との連携を密にし、問題の早期発見や迅速かつ的確な対応を図っていく必要があると認識しております。</p> <p>上記の課題解決を目的とし、地域住民へのサポート活動を実施し、子ども達が安心して過ごせる環境で自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など将来の自立に向けて生き抜く力を育む活動を行政、NPO、地域住民、企業の方々と協力し、心の問題を抱える子ども達が生活しやすい地域社会を構築し、親が孤軍奮闘することなく地域で子ども達を見守る誰一人取り残されない地域子育てコミュニティづくりに取り組めます。</p>
<p>事業の具体的内容</p>	<p><事業の具体的内容> 2022年9月～2023年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援（毎日/通年実施） ・農業体験、職場体験（毎月1回/通年実施） ・こどもの居場所づくり（毎日/通年実施） ・こども食堂（毎月1回実施） ・地域イベント開催（2022年9月、2023年3月） <p><対象></p> <p>心身上の様々な悩みを抱えた子ども達や、障がいのある子どもやひとり親世帯など様々な理由で精神的、経済的支援を必要としている家庭</p> <p><実施地域></p> <p>宮城県仙南沿岸地域（主に亘理町、山元町）</p>
<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>① 学習支援 実施回数：80回、参加人数：延べ400人 プログラミング教材などを活用した学習支援を行った。</p> <p>② 農業体験、職場体験の実施 実施回数：24回、参加人数：延べ312人 町内の農場での種まきや収穫体験、コミュニティFM局でパーソナリティー体験を行った。</p> <p>③ こどもの居場所づくり 実施回数：146回、参加人数：延べ1,022人 未就学児以上の親子を対象に居場所づくりを行った。</p> <p>④ こども食堂 実施回数：15回、参加人数：延べ225人 子どもも大人も誰でも参加可能な食事会を行った。</p> <p>⑤ 地域イベントの実施</p>

	<p>実施日：2022年9月18日、2023年2月26日、3月11日 参加人数：延べ1,520人 花火大会、運動会などを行った。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動域における子どもの貧困率：13.5% ・10歳児（小学5年生）肥満児の割合→男児16.9%、女児14.8% ・児童虐待の通報先の認知度向上→未就学児・小学生児童49.8%（基準値：49.0%） <p>9月18日に行った地域イベントでは、子ども達自身で企画した運動会を実施した。準備を始めたころは会話も少なく内気な子たちだったが、準備や作業時間をともに過ごす中で会話も増え、自ら考えて行動する姿も見られるようになりました。その後、子ども達からの要望で2月に子ども達や親が役者となり、自分の言葉や演技で感情を表現する即興演劇を実施しました。</p> <p>今年度の取組に参加した子どもや、その親から「夏休みなどの期間だけ子どもを預けたい親も多いから、その時期はボランティアスタッフを増やして子どもの受入人数を増やせないか?」「フリーマーケットイベントなど他の家族と交流できる場を増やしてほしい」など、次年度に向けて前向きな意見をいくつか頂戴できました。また、亘理町子ども未来課や社会福祉協議会などと連絡や意見交換を密に行なえたことで「来年度こういう取組やってみませんか?」といった提案をいただけるようになり、一歩進んだ関係性の構築ができております。</p> <p><教訓></p> <p>こども食堂の対象を、貧困者に限定せず広くお知らせしたことで、参加人数が増えた半面、本当に支援が必要な人に届けきれなかったことが貧困率の改善に結びつかなかったと認識しております。自治体を通してピンポイントで情報を発信してもらえるように改善して参りたいと思います。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>コロナ禍の影響もあり、子どもだけでなく大人もメタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合が宮城県内の平均値よりも高まっている現状を踏まえて、今回の助成金を活用して実施した子ども食堂に、食育を取り入れた「食育カフェ」を2023年6月から取り組む予定です。食育カフェ事業を通して、地域住民の食生活の改善、孤立や孤食の防止にも取り組んで参ります。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	258,000	
自己資金	11,542	
合計	269,542	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
消耗品費	プリンターインク、コピー用紙、クリアファイル、寸胴鍋、スポンジ、石鹼等	50,000	78,306
印刷製本費	A4 片面 4 色刷りチラシ @6 円×5,000 枚	34,000	33,000
材料費	線香花火、LED ライト	50,000	47,448
交通費	高速道路利用料、ガソリン代	69,000	61,288
宿泊費	1 人 1 泊 @5,500	55,000	49,500
合計		258,000	269,542

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

- ① 福祉活動助成金 助成活動報告書
プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。
- ② 領収書のコピー (郵送)
- ③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)
*写真は郵送とメールで送ってください。

『やってみたい!』を応援する場所!それが 181

学びと遊びで未来を思考する
チャレンジ/ジョブ&
コミュニティスペース

181
ICHI HACHI ICHI



あなたのアイデアでご活用ください

営業時間 10:00 ~ 17:00

定休日 不定休

住所 宮城県亶理郡亶理町逢隈田沢字早川 66-1

※利用料や詳しい内容はお問合せください

お問合せやお申込みは・・・LINE もしくは電話にてお問合せ下さい♪

電話 080-6044-0296

LINE 181 の LINE 公式アカウントを友達追加で、
お問合せや見学・利用のお申込みが簡単にできます!
お得な情報やイベントのお知らせもしています♪



ID: @981ikpro

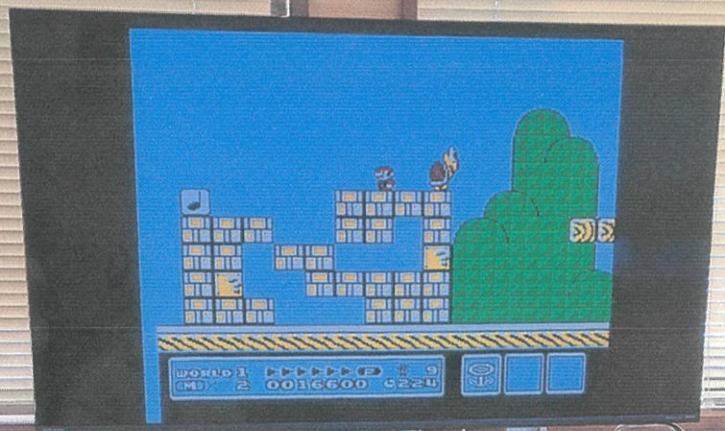
運営

一般社団法人 スタンドアップ亶理

STAND UP
WATAR!







181

このゲームは、任天堂のスーパーマリオシリーズの1つです。プレイヤーは、マリオのキャラクターを操作して、敵を倒し、ゴールを目指します。このゲームは、非常に人気のあるゲームの一つです。





